

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

報告事項3の参考資料

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
1	配食サービス	長寿支援課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	対象者に、高齢者向けの夕食を毎日配食するとともに、安否の確認を行う。	食事を作ることが困難な概ね65歳以上の単身又は虚弱な高齢者世帯	経費 70,360千円 延利用者数 7,396人 配食数 175,901食	毎日夕食の手渡し配達により、利用者の安否確認や健康状態、生活状態が把握でき、また生活上の負担軽減、食生活の改善等により在宅生活を維持できるようになった。	継続
2	口腔教室 (介護予防普及啓発事業)	長寿支援課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	口腔機能の向上を中心とし、併せて栄養改善、運動器の機能向上等を含めた総合的な介護予防プログラムを実施する。	要介護認定を受けていない65歳以上の市民	経費 9,075千円 参加者数 113人 実施回数 132回 (1教室6回) ※22教室実施	健康状態の改善又は維持により教室を終了されるかたの割合が高く、主観的健康感や基本チェックリスト等における結果も改善となる傾向となった。	継続
3	老人大学 (介護予防普及啓発事業)	長寿支援課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	高齢者の知識を広め、より充実した生活を送るための教養と健康及び生きがいづくりを図ることを目的として、一般教養、健康、芸能等に関する講演を実施する。 (講演は2部構成で1部:介護予防に関する講演、2部:芸能等)	60歳以上の市民	中止	—	継続
4	楽しく、おいしい給食の提供 (保育所における食育の推進)	保育運営課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	成長発達に必要なエネルギー及び栄養素を満たすとともに、食べる喜びや楽しさが感じられる給食を提供している。 旬の食材を使用した季節感のある給食や、行事食を取り入れるなどして日本の食文化を伝えており、また、新献立を積極的に取り入れることで、子どもの食体験が広がるように工夫し、和食の推進にも力を入れている。 日々の給食を生きた教材として活用し、より食に親しむ機会を提供している。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所) 在籍児	公設公営・公設民営保育所在籍児約3,000名	家庭では食べる機会が少なくなっている日本の伝統的な食材(ひじき・おから・切干大根など)や苦手な野菜も、他の子どもと食事をする事や給食で繰り返し提供されることで食べられるようになる子どもが増えている。	継続
5	家庭配布用献立表の作成 (保育所における食育の推進)	保育運営課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	家庭配布用の献立表に献立名その他、使用食材や栄養価を記載し、情報の提供を行っている。特に使用食材については、主に含まれる栄養素によって3群に分類して記載し、体内での働きなどが分かるようにしている。献立表を通し、バランスよく食べることの大切さも周知できるように作成していく。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所) 在籍児とその保護者	公設公営・公設民営保育所在籍児約3,000名及び保護者	保育所の給食献立や料理の組み合わせは、家庭でも参考になっているようで、子どもが食べたがるのでレシピを教えて欲しいという要望もある。	継続
6	ひらがな献立表の作成 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	主に5歳児を対象に、子ども向けのイラストをカラーで記載し、目で見て楽しめる献立表として作成することで、子どもの給食に対する興味・関心を高める。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所)5歳児	公設公営・公設民営保育所在籍児約900名	今日の給食は何だろう、大好きな献立はいつ入っているのかなと献立を確認している子どもたちが多く、給食に対する興味関心を感じられた。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
7	食育だよりの作成 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	食に関する情報、給食献立や旬の食材の紹介、人気献立のレシピなどを盛り込んだ「食育だよりの」を作成し、配布する。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所) 在籍児とその保護者	公設公営・公設民営保 育所在籍児約3,000名 及び保護者	毎月楽しみに読み、給食 のレシピを参考に家庭で も作ってみたという保護者 も多く、リクエストを頂くこ ともある。	継続
8	食の体験活動 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	園庭での野菜や果物の栽培・収穫を通して、食への興味・関心を高める。栽培したものは実際に調理して食べることで、育てる喜びと食べる幸せが感じられるようになり、育てて収穫し、食べるという一連の流れを体験することで、豊かな心を育てる。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所) 在籍児	公設公営・公設民営保 育所在籍児約3,000名	苦手な野菜でも、自分達 で育てたものは食べられ たという子どもも多く、好き 嫌いが少なくなったなどの 変化も見られる。	継続
9	食物アレルギーへの対策 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	医師の所見に基づく代替食や除去食の提供を基本とし、3大アレルゲンの食品を使用しない献立の研究を行う。なお、食物アレルギー対応マニュアルを必要に応じて見直し、時代のニーズに沿った改訂も随時検討していく。	公設公営保育所(25ヶ 所)在籍児とその保護 者	公設公営保育所在籍児 及び保護者	食物アレルギーの対応が 分かりやすくなり、誤食防 止にも役立っている。ま た、みんなと一緒に食べ られる献立が増え、調理 員・保育士の負担軽減に もつながっている。	継続
10	食育の巡回指導 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	栄養士が巡回し、食育指導を行う。	公設公営保育所(25ヶ 所)5歳児	公設公営保育所5歳児 約700名	身近な米を題材に、食材 が届くまでの生産者の苦 労や思いを伝えている。 指導後は、給食を残さず に食べようとする姿が見 られている。	継続
11	給食の展示食 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	保育所で提供した給食・おやつの展示食を行い、保護者に保育所での提供量や料理の組み合わせを参考にしてもらうとともに、子どもとの会話のきっかけにもなるようにしていく。	公設公営保育所(25ヶ 所)在籍児とその保護 者	公設公営保育所在籍児 及び保護者	展示食を見ながら保護者 と子どもが給食について 話していることもあり、食 に関する会話のきっかけ にもなっている。盛り付け 量など、保育所の給食が 参考になったと話す保護 者も多い。	継続
12	給食を通じた食育指導 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	当日の給食の献立や使用食材に関する情報を子ども向けにまとめた「給食一口メモ」を作成し、保育士から伝えてもらい、日々の給食に関心を持たせることで、食への興味を高める。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所)	公設公営・公設民営保 育所在籍児約3,000名	給食一口メモを楽しみにし ている子どもも多く、食べ 物の話題が多くなってい る。	継続
13	食育ポスターの掲示 (保育所における食育の推進)	保育運営課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	食育ポスターを毎月作成し、保育所で掲示する。保護者への情報提供の他、親子で楽しめるクイズなども掲載し、家庭での食育につながるようにしていく。 公設民営保育所・民設民営保育所(園)にはポスターをメールで送付している。	公設公営保育所(25ヶ 所)在籍児とその保護 者、公設民営・民設民 営保育園	公設公営保育所在籍児 及び保護者、公設民 営・民設民営保育園	食育ポスターをよく見てい る保護者も多く、保育所か ら是非続けて欲しいとの 声がある。また、公設民 営保育所・民設民営保育園 においても園に掲示して 活用してもらっている。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
14	行事食の提供 (保育所における食育の推進)	保育運営課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	伝統的な日本の食文化について理解・関心を高めるため、献立に行事食を取り入れる。行事食を提供する際には「給食一口メモ」や「食育だより」でもその由来を説明し、意味を知って食べることで、より行事食への理解を深める。	公設公営保育所 (25ヶ所) 公設民営保育所 (12ヶ所) 在籍児	公設公営・公設民営保育所 在籍児約3,000名	行事食や郷土料理を楽しむにしている子どもが多く、楽しんで食べており、川口市の日の行事食も定着してきた。	継続
15	健康・生きがいがづくり通信	保健総務課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	市民の健康・生きがいがづくりに関する意識や関心を高めることを目的に、年1回テーマを決めて発行する。	市民	コロナ禍のため、作成する人員の確保を調整できず本年度は見送りとした。	※未発行のため効果検証できず	継続
16	川口健康フェスティバル	保健総務課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	健康フェスティバル実行委員会において、健康意識の高揚、健康づくりの啓発・普及を図るため、各種健康体験コーナーを開設する中で、食を通じた健康づくりの啓発を行う。	市民	経費 39千円 フェスティバルは中止となったが、功労者表彰は郵送にて実施した。	※中止のため効果検証できず	継続
17	食生活改善推進員養成講座	保健総務課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	新たな食生活改善推進員(ヘルスメイト)の養成を目的に、食生活改善や健康づくりについて学び、食生活改善推進員として必要な知識を習得してもらうために、全8回の講座を開催。 講座では、健康づくりに携わる者の基礎知識として定められた内容を、専門知識を有する医師、管理栄養士、運動指導士などを講師に20時間程度学習する。 一人でも多くのかたが、食を通じた健康づくりの担い手として、地域に密着し、食生活の改善と体力の増進を図り、市民の健康づくりのためのボランティア活動を積極的に行うことを期待するもの。	川口市民	経費 86千円 参加者数 15人	受講者の健康づくりに対する意識と知識の向上に繋がった。	継続
18	食生活改善推進員リーダー研修	保健総務課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	川口市食生活改善推進員協議会は、約400人の会員があり、各公民館を拠点に活動する26支部により組織されている。 「健康づくりは家庭から」「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、食生活の改善と体力の増進を図り、市民の健康づくりのためのボランティア活動を積極的に行っており、その活動時の中心的役割を果たす支部長(リーダー)等の知識等を向上させるため、毎月1回「食生活改善推進員リーダー研修」を実施。	食生活改善推進員	経費 79千円 参加者延数 238人 開催回数 9回(うち調理実習3回)	リーダー研修後に各支部で行われている伝達講習等により、各会員の意識と知識の向上が図られ、その知識を地域住民に講習会や教室等で広めることで、市民の食を通じた健康づくりと体力の増進に成果を挙げている。	継続
19	川口市の郷土食等に関する情報提供	保健総務課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	ホームページ等で川口市の郷土食や食に関する取り組みについて情報提供を行う。	市民	—	川口市独自の食文化や郷土食の文化継承に役立った。	継続
20	食育に関する情報の発信	保健総務課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	平成29年3月に策定した川口市食育推進計画(第2次)の概要、取り組み、各種献立等を川口市ホームページに掲載し、随時、情報を提供する。	市民	—	市民の食育に関する意識の啓発を図ることができた。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
21	巡回みんなの保健室 (成人健康相談)	地域保健センター	1 学んで実践! 私に合った健康な食生活	予約制で心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、希望者には、身長・体重・腹囲・血圧測定、BMI・体脂肪計測を行う。また、保健師、栄養士、歯科衛生士による個別相談(保健、栄養、歯科等)も併せて実施する。	市民	参加者数 12名 開催回数 52回	コロナ禍であるため対面相談に制限はあったが、必要な方には感染防止対策を図り実施したことで、参加者の不安を軽減でき、本人及び家族の健康管理に役立った。	継続
22	39ヘルスチェック	地域保健センター	1 学んで実践! 私に合った健康な食生活	予約制で身長・体重・腹囲・血圧測定、体脂肪・BMI・骨密度計測、簡易血糖検査を行い、必要に応じて保健・栄養・歯科相談を実施し、これにより、対象者が自らの健康課題に気づき、自分に合った健康づくりができるよう支援している。	39歳以下の市民で、健康診断を受ける機会がないかた	参加者数 21名 開催回数 4回	コロナ禍のため尿検査・虫歯菌テストを除き、短時間での相談等、感染防止対策に配慮し実施したことで、参加者が安心して参加でき、本人及び家族の健康管理に役立った。	中止
23	健康教育	地域保健センター	1 学んで実践! 私に合った健康な食生活	生活習慣病予防及び介護予防、その他健康に関する事項についての集団健康教育を実施する。また、他部署、地域団体等からの要望により、健康教育の講師として出講する。	おおむね40歳以上の市民	参加者数 2,907名 開催回数 71回	コロナ禍で集団教育は縮小して実施。オンラインやオンデマンド講座を実施したところ、若い世代や就労中の参加者が増え、広く健康や疾病予防に関する知識の普及が行えた。	継続
24	成人歯科保健事業	地域保健センター	1 学んで実践! 私に合った健康な食生活	30歳以上の市民を対象に、歯と歯肉の状況をチェックする成人歯科健康診査及び、希望者に対し唾液潜血検査等の歯科ドックを行う。また、問診や視触診による口腔がん検診を実施する。歯科医院に行くことが困難な65歳以上の市民に対し、訪問歯科健康診査を実施する。	・歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診: 30歳以上の市民 ・訪問歯科健康診査: 歯科医院に行くことが困難な65歳以上の市民	成人歯科健康診査受診者数 3,977人 歯科ドック受診者数 1,794人 口腔がん検診 2,162人 訪問歯科健康診査受診者数 231人	健診を通して自らの口腔内の健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、疾病の予防及び早期発見・治療、健康に対する意識の向上につながった。	継続
25	乳幼児健康診査・健康相談事業	地域保健センター	1 学んで実践! 私に合った健康な食生活	乳幼児の心身における疾病や異常の早期発見、進行予防及び育児に関する相談・指導を行う。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。健診未受診児に対しては、通知や訪問、関係機関への問い合わせを実施し、児の発育発達、養育環境等を確認し、併せて居所を確認している。	・3.4か月児健康診査: 3~5か月未満の乳児 ・1歳6か月児健康診査、歯科健康診査: 1歳6か月から2歳未満の幼児 ・3歳児健康診査: 3歳6か月から4歳未満の幼児 ・幼児相談: 1歳から6歳までの幼児 ・10ヶ月児健康相談: 10か月になる乳児	受診者(利用者)数: 22,152人 (10か月児健康相談は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止し、「成長と発達の目安」聴覚発達チェックリストの送付に変更)	乳幼児の心身の発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して育児不安等の軽減を図り、家庭でも適切な対応ができるようサポートができました。	拡充
	乳幼児のむし歯予防 (乳幼児健康診査・健康相談事業)	保育運営課		各保育所で、年1回の歯科医師による歯科検診の実施の他、乳幼児期のむし歯予防として、歯みがき教室や紙芝居・絵本等を通しむし歯予防の大切さを知らせると共に、食後のうがい、歯みがき、フッ化物洗口等の指導を行っている。	・公設公営保育所 (25ヶ所) ・公設民営保育所 (15ヶ所)	フッ化物洗口事業 1064名	歯科検診によるむし歯の早期発見、口ゆすぎ・歯みがき・フッ化物洗口により、日々のむし歯予防に努めることができました。歯の大切さや予防の重要性について伝えることで、子どもの意識向上にもつながりました。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
26	ウエルカムBaby教室	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	妊産婦の食事についての講義や、バランスの良い食事例のフードモデルの展示を行う。	妊娠4～8か月の妊婦とそのパートナー	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)	—	縮小
27	歯と口の健康フェスティバル	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	う蝕や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした正しい歯科保健知識の普及啓発を行い、生涯を通じた口腔ケアの向上を図る。	市民	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)	—	縮小
28	おとなの食育講座	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食事についての望ましい習慣を学びながら食を楽しむ機会の提供や適切な栄養管理に関する知識の普及や情報の提供を行う。 ・栄養バランスの講義 ・川口郷土食の普及・啓発に関する講義	おおむね64歳以下の市民	オンライン開催で参加者7名	川口の郷土食について普及することで、郷土への愛着形成を促すための食育が実践できた。	継続
29	離乳食講習会	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	離乳食の講義や試食、離乳食づくりのデモンストレーションを行い、フードモデル、食品、食器具の展示をする。	生後3～5か月の乳児とその保護者	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)	—	縮小
30	幼児食講習会	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	離乳完了から幼児期の食事についての講義、手づかみ食べをテーマとした幼児食の試食や、質問・相談を実施する。	1歳から1歳6か月の幼児とその保護者	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)	—	縮小
31	食育教室	地域保健センター	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食に対する関心・興味を持たせ、子どもが健やかに育つよう食を通じた教育を行う。 ・バランスの良い食事についての話と食育クイズ ・親子調理実習と試食 ・バランスの良い食事・成長期に必要な栄養などの講義(保護者向け)	就学前年度の5、6歳児とその保護者	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)	—	縮小
32	食の安全に関する情報提供	食品衛生課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	食中毒の発生を予防するため、啓発物の配布、広報誌やホームページ等を活用し、食の安全に関する情報の提供を行っている。 食品等事業者向けの講習会や個別相談による指導・助言を行っている。	川口市民、市内食品等事業者	リーフレット・啓発物 408,012円 広報等周知 16回 相談・講習会 14回	食中毒事件の発生や菌・ウイルスの特徴の周知により、市民の食の安全に関する意識を高める効果があった。	継続
33	特定健康診査 特定保健指導	国民健康保険課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	特定健康診査は、生活習慣病の前段階であるメタリックシンドロームに着目した健康診査であり、受診者のうち、生活習慣病にかかるリスクが高いと判定されたかたに対し、保健師や管理栄養士等による生活習慣改善のための特定保健指導を行う。	川口市国民健康保険に加入している40歳から74歳のかた	参加者数(令和4年5月25日時点) ・特定健康診査 20,376人(26.0%) ・特定保健指導 積極的支援 59人(6.8%) 動機付け支援 164人(7.7%)	特定健康診査の実施率は上昇傾向にある。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
34	後期高齢者健康診査事業	高齢者保険事業室	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	後期高齢者医療制度加入者の健康保持や生活習慣病の早期発見を目的とし、希望者に対して身体測定・血液検査を実施する。	市内在住の埼玉県後期高齢者医療制度加入者	参加者数 12,440人	疾病の早期発見や健康状態の保持・増進に寄与することができた。	継続
35	エコライフDAY	環境総務課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	6月(環境月間)の「エコライフDAY(第2日曜日)」のチェックシートに「食」に関する項目をのせ、食生活においてできるエコな取り組みを呼びかけている。	市民	参加者数 110,435人	毎年多くの市民が参加し、食に関する啓発が進んでいる。また、主たる目的である二酸化炭素削減は、昨年度実績で106,966,194gの削減効果があった。	継続
36	「食品ロス」に関する意識啓発	資源循環課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	パネル展示、ホームページ、小学校中学年社会科学習資料、広報かわぐち及びパンフレット等で食品ロス問題の広報・啓発活動を行っている。	市民	木製マグネット作成 経費 502千円	食品ロスに関する情報の周知を図ることができた。	継続
37	川口生活フェスティバル	産業労働政策課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	一般市民を対象に、消費者が自主性をもって健全な消費生活を営むために、商品及び役務並びにこれらの取引行為に関する知識の普及及び情報の提供を目的とし開催する。	市民	なし	なし	休止
38	農業体験事業	農政課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	市民の農への理解を促進するため、農業の初心者等で家庭菜園を楽しみたい方を対象に野菜づくりの知識とコツを学ぶ講座を開催した。	市内在住・在勤	参加者数 30人	野菜作りの知識やコツを学ぶ家庭菜園講習会を実施することで、農あるライフスタイルの推進とともに市民の農に対する理解促進に貢献した。	拡充
39	市役所マルシェの開催	農政課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	市役所第一本庁舎1階多目的スペースで毎月1回程度開催し、地場産の新鮮野菜、鉢花、加工品等の宣伝及び販売をする。	市民・来庁者	出店数 平均2.6店舗 実施回数 9回	市内で生産された特産物等の消費拡大及び農業関係者と市民の交流が深まることで、地場産業の振興に繋がった。	継続
40	公民館講座	生涯学習課 (公民館等)	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	趣味講座など、「生きがいがづくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学のかた	経費 3550千円 参加者数 延べ8574人 実施回数 延べ150講座 396回	受講者の生きがいがづくりにつながった。	継続
	中央ふれあい館講座	生涯学習課 (公民館等)		趣味講座など、「生きがいがづくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学のかた	経費 209千円 参加者数 延べ352人 実施回数 延べ7講座 18回	受講者の生きがいがづくりにつながった。	継続
	生涯学習プラザ講座	生涯学習課 (公民館等)		趣味講座など、「生きがいがづくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学のかた	経費 150千円 参加者数 延べ21人 実施回数 延べ7講座 20回	受講者の生きがいがづくりにつながった。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
41	学校ファーム推進事業	指導課	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	市内小中学校から毎年10校程度をモデル校として実施。学校ファームやプランターなどを活用した農業体験活動を実施し、取組状況と成果をリーフレットにまとめ、市内の学校に啓発している。	市内児童生徒	経費 700千円 小学校 7校 中学校 3校	児童生徒の勤労観・職業観が育成され、農業に関する意識が高まっている。また、農業体験を通じ、食べ物への感謝の気持ちや、食料生産者への思いなども報告されている。	継続
42	学校訪問	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	特別活動を中心に、教科・領域における食の視点を踏まえた授業を参観し、学校における『食に関する指導』の推進について指導及び助言を行い、各学校で共通理解を図り、児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう実施している。	市内小中学校	小学校17校 中学校 7校	養護教諭・栄養教諭等の積極的な参画を得て専門性の高い『食に関する指導』が実践されており、授業実施数も増加傾向にある。指導体制も充実してきている。	継続
43	歯科保健指導の充実	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	口腔衛生に関する指導資料冊子を作成し、各学校の授業等において活用することで、歯科保健活動の充実を図る。	市立小学校1年生・中学校1年生の児童生徒	経費 413千円 配布数 10,000冊 配布回数 1回	むし歯予防や早期発見、早期治療を図ることにつながり、また自分の歯や口腔衛生に関する意識改善に寄与することができた。	継続
44	小児生活習慣病予防検診	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	定期健康診断の結果、肥満度が30%以上となった児童生徒のうち希望者に対して、血液検査、身体測定、血圧測定を行い、児童生徒の将来的な生活習慣病罹患を予防し、生涯にわたり健康な生活を送ることができるようにする。	肥満度30%以上の児童生徒(市立小学校4年生・中学校1年生)のうち受診希望者 ※令和2年度に検診を実施できなかったため、令和2年度の対象者も含めた。	実施回数 6回 ※通常年3回実施したが、令和2年度に実施できなかったため、その対象者も受診可とし、6回実施した。	児童生徒の健康状態を把握し、望ましい生活習慣への改善のための指導や、必要場合は医療機関の受診を促すなど、将来の生活習慣病予防に向けた取組を促進することができた。	継続
45	給食だより等の発行	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食知識を定着させるため、毎月1回給食だより等を発行し、学校と家庭との連携を図っている。また、毎月1回発行の給食献立表には、使用された食品を3色食品群別に表記し、栄養価等の情報を記載している。	市立小・中学校の児童生徒とその保護者	給食だより 11回 献立表 11回	児童生徒及び保護者に学校給食に関することのみならず、衛生管理や健康管理等への関心を高めてもらい、食育の推進に寄与することができた。	継続
46	食に関する指導推進研修	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	学校教育活動全体で食に関する指導を推進する上で、中核的な役割を担う教員・栄養教諭等の食に関する指導の充実と資質の向上を目的とし、令和3年度は、授業中での「まとめ」と「ふりかえり」の違いについて、また、「自己肯定感を高めるふりかえり」についての研修を行った。	市内小中学校教職員、栄養教諭、学校栄養職員	参加者数80名	授業における「課題」「めあて」「ねらい」や「まとめ」と「ふりかえり」について確認し、その違いと目的を捉え直すよい機会となった。	継続

川口市食育推進計画(第2次)掲載事業

No.	事業名	実施課	該当する目標	事業内容	対象者	令和3年度実績	効果	令和4年度の方向性
47	給食主任会	学校保健課	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	学校給食の概要、学校給食における食物アレルギー対応の内容等を中心に、学校給食の運営と事務手続き等を周知するとともに、校内における給食主任の役割について確認している。	市内小・中学校給食主任、学校給食センター栄養士	参加者数90名	年度当初に開催することで、今年度目標とする取組やアレルギー対応について周知することができ、また、給食主任としての基本的な役割を確認することで、自校の取組を更に充実していく一助となった。	継続
48	学校給食における行事食・郷土食の提供	学校保健課	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	学校給食において行事食・郷土食を取り入れ伝統的な日本の食文化や地域の食文化を紹介し、季節の食べ物や各地の風土・産業・文化・歴史等に培われた食材・産物の存在を知り、日本の食文化を大切にしていこうとする気持ちを育む。また、献立委員会において、喫食時の状況や残菜状況を報告し、献立作成に反映させている。	市内小中学校の児童生徒	小学校 52校 中学校 26校 行事食 10回 郷土食 30種 延べ2386回	地域の産物(地場産物)を使用した郷土料理や行事食といった特別な給食を通して地域や食への興味、関心、理解を深め、日本の伝統文化や季節の節目、食の大切さなどを学び、次の世代に受け継いでいくことに繋がる効果があった。	継続